

その時、教師は



新学習指導要領への移行措置の1つとして、2019年度から、高校1年生の「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」に改められ、新学習指導要領にのっとった教育活動が行われている（「総合的な探究の時間」の解説は、本誌2018年8月号P.4～7を参照）。ただ、探究学習において、教師は生徒にどのようにかわればよいのか、どんな役割を果たせばよいのか、悩む教師はまだ少なくない。そこで今号の特集は、探究学習に見る、これからの教師のあり方をテーマにお送りする。



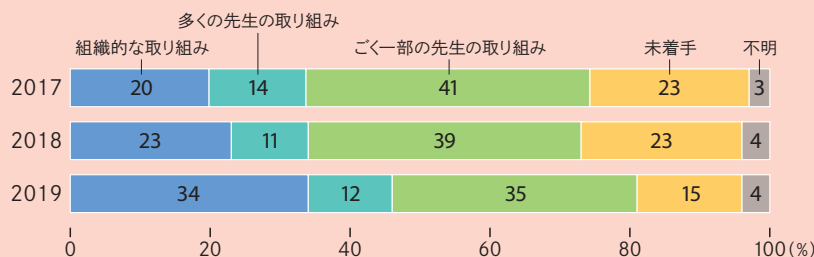
普段の授業なら出てこないような突拍子もない発言に直面した時、どう対応するのか？
横道にそれていそうな、冗談にも聞こえる生徒の言葉を前に、その時、教師は**どんな表情を見せるのか。**



探究学習の課題設定のために、授業後もずっと話し合いを続ける生徒の言葉に耳を傾けている時、ある疑問が立ち上がった。この疑問を生徒に言うべきか、否か。その時、教師は**何を考え、どう判断したのか。**

DATAに見る“今、教師は”

●教科の授業以外での探究学習の実践状況



教育・入試改革が具体化・具現化していく中で、教科の授業以外でも探究学習を実践する学校・教師が増えてきている。

探究学習

ドキュメント **探究する教師たち** p.4

CASE 1 見通しが立ちにくい教育活動での支援のあり方を模索する

長崎県・私立純心中学校・純心女子高校
森 俊雄、大坪亮平

CASE 2 自分自身に向き合う環境を整える

東京都・私立かえつ有明中・高校
大木理恵子

対談 **教師に求められる探究マインド** p.12

東京都・私立かえつ有明中・高校 佐野和之
長崎県・私立純心中学校・純心女子高校 植本六秀

学校事例 **全校体制での推進に向けて** p.16

兵庫県立加古川東高校

レポート **世界的な潮流** p.20

「地方創生イノベーションスクール2030第2期 (ISN2.0)」
第4回研究会

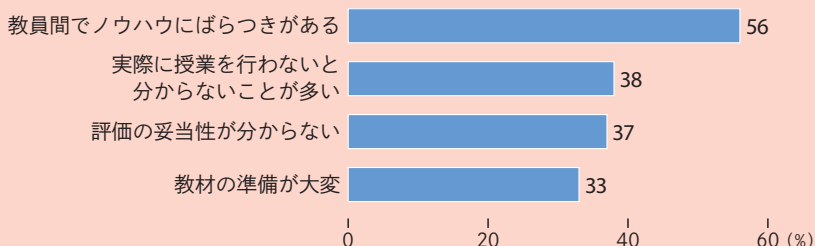
付録

探究学習お役立ち文献&ウェブサイト p.24



生徒がどのように自分に向き合い、
そして、どのようにしてコンフォートゾーンから
一歩踏み出そうとしているのかを敏感にキャッチするために、
私たち教師にも越境が必要だと気がついた。
その時、教師は**何を生徒に語ったのか。**

● 「総合的な探究の時間」について課題に感じていること



探究学習では、これまでの教科指導とは異なる指導のスキルやスタンスが求められるため、指導の足並みをそろえにくいことに課題を感じている。

出典 / (株) ベネッセコーポレーション教育情報センター「教育・入試改革対応に関する調査」(2019年)全国の高校へアンケート実施。有効回収数は約1,400校。